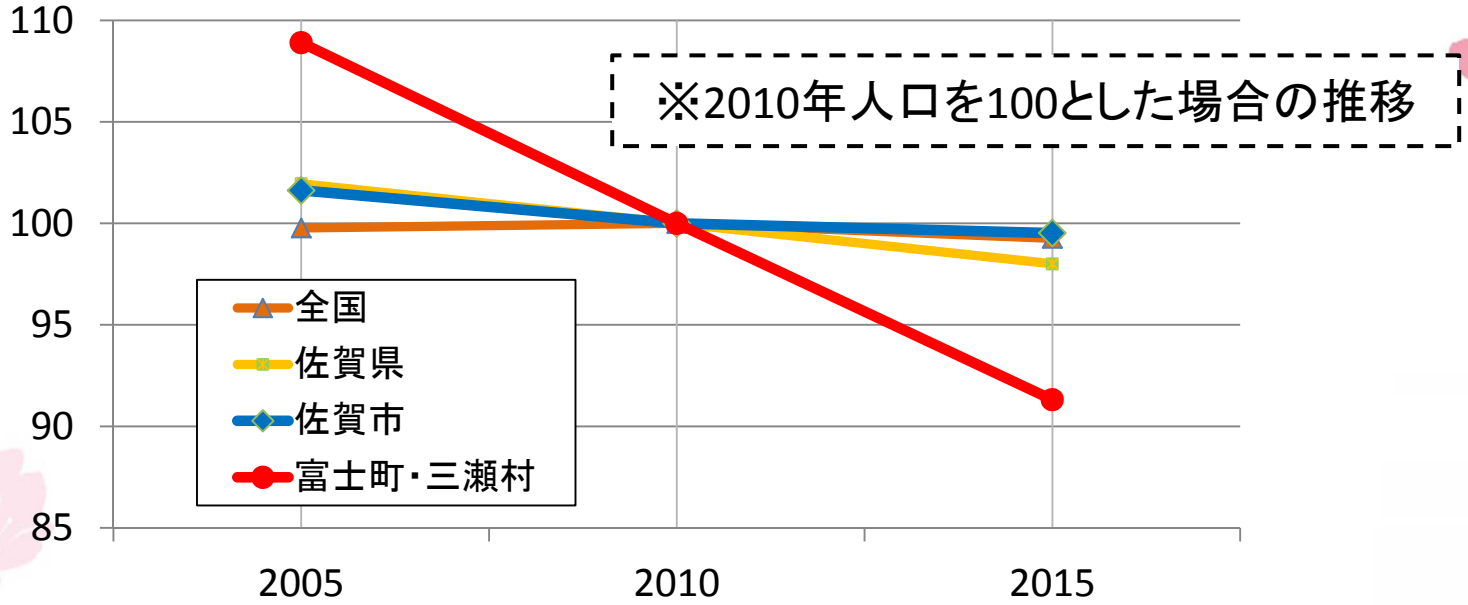
佐賀市
SAGA

2017 新春記者会見

平成29年1月4日

はじめに（本市の人口について）

≪2015（平成27年）国勢調査≫



○本市全体では、2010（平成22年）国調比で 0.5%（1,134人）減少

cf) まち・ひと・しごと創生人口ビジョンにおける推計：2.2%（5,300人）減少

○富士町・三瀬村に限定すると、8.7%（503人）減少

特に中山間地域において、定住人口を増やす取組が必要

○旧富士小跡地の活用　○移住促進・空家活用　など

“佐賀の誇り” の発信

ラムサール条約湿地「東よか干潟」

○干潟の保全とワイズユースを推進します。

○展示・学習・交流の拠点施設の整備に着手します。

国史跡「東名遺跡」

○整備・活用のあり方の検討を進めます。

○併せて、埋蔵文化財センターのあり方を検討します。

世界遺産「三重津海軍所跡」

○史跡・ガイダンス整備の検討を進めます。

○南部地域観光の核としての活用を推進します。

バイオマス産業の推進

バイオマス関連産業の立地促進

○清掃工場で発生する二酸化炭素を活用した国内最大級の藻類培養拠点の整備に向けて、隣接地の用地を確保します。

藻類による新産業の創出

○佐賀大学・筑波大学と連携し、培養・育種・利活用等に関する共同研究を進めます。

○産官学金による藻類産業推進協会（仮称）を設立し、新産業の創出に取り組みます。

子育て・教育環境の充実①

発達障がい児への支援

○早期診断・早期療育などの取組に加えて、新たに発達障がい児専門の児童発達支援事業所を開設し、支援体制を強化します。

妊娠・出産への包括支援

○出産後の産婦健診の導入など、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制を構築します。

子育て家庭の負担軽減

○子どもの医療費助成の対象を拡充し、新たに小学生の医療費（通院・調剤）を助成します。

子育て・教育環境の充実②

保育の受け皿の拡充

○認可保育所、認定こども園、地域型保育施設の定員を拡充し、待機児童ゼロをめざします。

○放課後児童クラブの施設整備を進め、４年生以上の受入施設を拡大します。

小中学校へのエアコン設置

○小中学校の普通教室等へのエアコン設置を進め、学習環境の向上を図ります。

福祉の充実

互いに支え合う地域福祉の推進

○地域における見守り活動を支える福祉協力員の設置を進めます。

○複合的な問題を抱えた家族などに対して、関係機関が連携して支援する体制を構築します。

ワンストップ窓口の開設

○市庁舎リニューアルに合わせて、福祉に関する相談にワンストップで対応する窓口を開設します。

中心市街地の街づくり

佐賀駅周辺整備

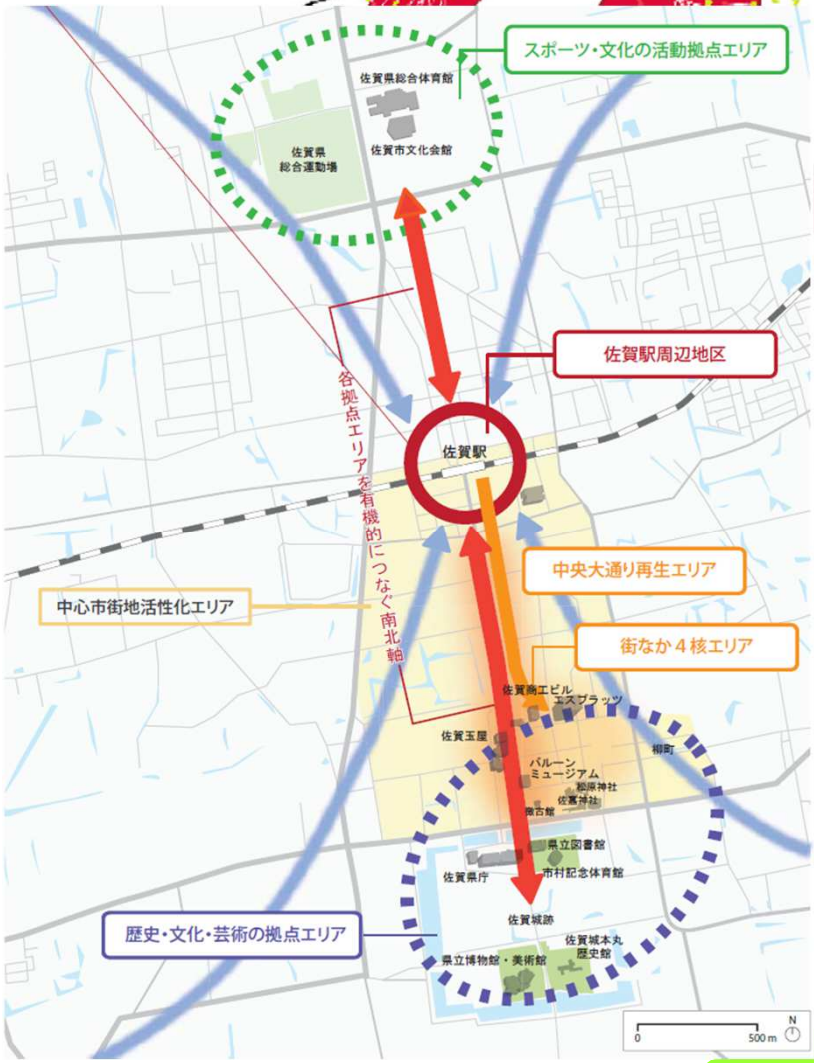
○新幹線開業・国体開催を見据えて、佐賀駅周辺整備に関する基本計画を策定します。

中央大通りの再生

○魅力向上に向けたトータルデザインの検討などを進めます。

街なか（４核エリア）の再生

○民間活力を活かした賑わい創出など、官民が連携して街なかの活性化を進めます。



出典：佐賀駅周辺整備構想 骨子案

産業の活性化

市産品の流通拡大

○首都圏などにおける物産販売協力店の拡充、台湾など海外における販路開拓を進めます。

企業誘致の推進

○事務系企業の誘致をめざし、オフィススペースの確保を進めます。

○久保泉第２工業団地の完売を受けて、新たな工業団地の整備を検討します。

さがん農業への支援

○６次産品の『いいモノさがし』認定や、GAP認証取得の支援など、意欲ある生産者の取組を支援します。

○新規就農に向けた研修システム（トレーニングファーム）の創設など、地元農家やＪＡ等とも協力しながら、農業の新たな担い手を育成します。

佐賀市
6次産業認定品
いいモノさがし

安全・安心のまちづくり

浸水軽減対策

○石塚雨水ポンプの稼動、新村愛敬水路の狭窄部解消、厘外雨水ポンプの本格着工など、ハード整備を進めます。

○国・県や農業者などと連携し、排水施設の連携操作、浸水標尺の計測協力呼びかけなど、水防体制の強化を図ります。

建築物の耐震化促進

○店舗・宿泊施設などの耐震化への補助に加えて、倒壊・崩壊の危険性が高い住宅の耐震化に対する補助制度を創設します。

TOPICS1　アジア湿地シンポジウム2017

アジアの湿地保全関係者による第８回国際会議が佐賀市で開催！
湿地の賢明な利用と管理のための経験・技術・手法などの集積・共有を通じて
関係者の連携を強化し、アジアの湿地のワイズユースを促進します。

○日　程　　平成29年11月7日（火）～11日（土）
○開催地　佐賀市　　※第１回（1992年：大津市・釧路市）以来の国内開催
○主　催　　環境省、日本湿地学会、日本国際湿地保全連合、ラムサールセンター
○共　催　　佐賀県、佐賀市、鹿島市、荒尾市、ラムサール条約東アジア地域センター

TOPICS2　市営バスに“nimoca”導入

○平成29年2月16日　ＩＣカード“nimoca”サービス開始！

○10種類の全国相互利用サービス対象カードが利用可能

（nimoca、SUGOCA、はやかけん、suica、PASMOなど）